

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		かむらっきーず		公表日		令和7年 3月 1日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		4	1
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		4	1	基礎人員を満たすように人員を配置している。時間や来所人数により、活動を制限することで安全第一で運営している。	基礎人員はいるが、人員不足のため送迎や事務処理などがうまくできない時がある。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		5		課題、ブレイルームと用途に分けた環境を設定している。視覚的な情報が確保できるよう環境設定を行っている。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		3	2	集団活動時は動けるスペースを確保するなどしている。子どもが過ごす場所はなるべく綺麗にするように心がけている。定期的な換気も実施。	集団で過ごすには少し狭いと感じる。学習スペースとフリースペースが独立していないため、環境が良いとは言えない。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		5		それぞれのスペースを使用する際の目的やルールを設け、子どもに分かりやすく掲示している。必要に応じて使用できることも子どもに周知している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		5		PDCAサイクルについて職員に周知し、業務を行う上で、PDCAサイクルを実施するよう促している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		5		毎年1度、保護者向けに評価表の記入をさせていただいている。その結果を可能な限り反映している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		5		毎日MTGを実施。職員間で話し合った内容を業務改善に繋げている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2	3	相談支援事業所の方より、一人ひとりに向き合った支援ができていますと評価をいただいている。	外部評価は今まで行ったことはない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		5		定期的に事業所内での研修を行い、外部研修案内も配布している。	
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		5		支援プログラムが作成されており、事業所内・HPにて公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		5		各児童に対してアセスメントを実施。保護者からの意見もヒアリングシートしながら、適切な課題や援助ができるよう支援員間で話し合い、計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		5		児童一人ずつの情報（アセスメント）の共有や職員全員の見解を発言できる機会（時間）を設け、支援を検討し、最終的に児童発達支援管理責任者が計画を作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		5		ミーティングやケースカンファなどを通して計画が共有され、計画に沿った支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		5		一般的な活動を通しての評価と、個別課題などで個々に合わせた評価を行っている。また、集団活動でどの様な反応があるかなどを、確認している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		5		児童一人ひとりに必要な支援が適切に設定され、具体的な支援内容も個別支援計画書に明記されている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		5		集団活動や集団SSTなどは週交代で行っているが、なるべくみんなで意見を出し合うようにしている。	

な 支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	その日の利用者や時間帯などを考慮して、活動計画を立てて全員が把握できる様になっている。	なるべく分担をしたり、みんなで意見交換やアイデアを出すようにしているが偏りがちである。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		サービス計画書に基づき、毎日の個別課題の他に集団活動で、遊び・制作・SSTなどを取り入れて、他児との関り方や相手の気持ちを汲み取る力をはぐくめるようにしている。子どもに無理のないように頻度と時間には気を付けている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		毎日MTGでスケジュールを確認し、活動時間や役割を振り分けている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	3	連絡帳やケースを記入しながら、その日あったことの共通認識と反省、改善などを話し合っている。次の日のミーティングでも前日の出来事を必ず報告し、共通理解や意見交換を行っている。	緊急性があるものはその日のうちに共有し、対応を考えているが、基本は翌日のMTGで共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		毎日保護者向けの連絡帳やケース記録を記入し、次回の支援につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1	日々の話し合いやミーティング、ケースカンファなどから見直しを行い、その子に合った支援を行えるよう改善に努めている。計画書自体の見直しの必要性が今のところないため行われていないが、必要な際は見直しを行う。	計画の見直しは行わず、モニタリングに沿った助言や、課題の提供についてのブラッシュアップを行っている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		「4つの基本活動」を組み合わせ支援を行っている。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		子どもの意思決定を大切にするための声かけやツールを利用して支援を実行している。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児童発達支援管理責任者が各会議に参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		現在の連携は教育機関がメインとなっているが必要があるときには様々な機関とも連携し協力する体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		送迎時や電話などでその日の出来事や学校での様子を聞いたり、双方で子どもに適切な支援を統一できるようにしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	書面での情報共有はあるが、直接会って情報共有した実績はない。	実施なし。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2	卒業生は今のところいないので、情報を共有したことはないが、移行する児童がいる際には、しっかりと情報共有を行っている。	卒業生がいない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2	研修を通じてアドバイスを受けている。	実施なし。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		交流する機会が少ないので、機会を増やしたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4		積極的参加ができていない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		日々の連絡帳で細かく共有しており、必要であれば個別に連絡を取る事もある。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	保護者の方には、相談があったときにご家庭でできる支援方法についてお伝えしている。また、研修についてご相談があったときには、個別に対応している。	出来ているか把握していない。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1	保護者と必ず面談の時間を取り、読み上げを行い同意の元にサインをいただいている。	契約についてあまり理解していない。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		半年に一度の面接にて、保護者の意思の確認を行っている。保護者の意向を個別支援計画にも反映している。		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		保護者と面談の時間を取り、読み上げを行い同意の元にサインをいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		相談があった時は即時に日程調整を行い面談をし、問題解決に向けた支援がすぐに行える様にしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1	保護者会はなく、年に一回保護者参加型のイベントを計画し交流ができる場を設けている。	分からない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	1	苦情があった場合には直ちに、職員での情報交換と対応について話し合い、適切な対応が出来ていると思う。	今のところ苦情等はないが、苦情があった際は適切に対応します。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		かわらっきーず便りやSNSから、活動内容や行事の予定などを配信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報の扱いには十分留意している。また画像の掲載などにも注意している。様々な媒体へ掲載される際には、都度承諾を取っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		連絡帳などを利用し、子どもの成長につながる細かい情報を伝え、統一した支援が家庭でも出来る様にしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	地域との交流を図るためにマーケットに参加したいという案が出ている。	今のところ実施なし。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	定期的に避難訓練等を行っている。また、マニュアルについてはいつでも閲覧ができる様にしている。	避難経路の確認はしているが、その他の把握が出来ていない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1	業務継続計画は策定済み、定期的に避難訓練等を行っている。	行えていない。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1	入所前での面談などで服薬状況やてんかんについて詳しく聞き、緊急時の対応についても確認している。	頓服、てんかんのある子、予防接種の把握は出来ていない。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	植物アレルギーについては保護者からの情報共有のみで、医師の指示書はないが、緊急時の対応については保護者に確認している。またアレルギーの研修を職員が受けている。	アレルギーについて把握できていない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	2	様々なことを想定し、安全管理を行ったうえで支援を行っている。	なるべく高い位置に落ちたら危険なものは置かないようにしているが、研修、訓練はまだ出来ていない。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2	契約時に説明を行っている。	安全計画について家族等へ周知できていない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		職員間で共有し、再度起きないように検討する時間を設けている。報告書も作成している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		身体拘束・虐待について年に最低1回は研修を行い、職員間で共通の認識が持てている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		研修を通して身体拘束を行う条件の確認、個別支援計画について記載、保護者へ説明を実施している。		